科目コード／科目名 (Course Code / Course Title)	BX128／日本経済史2 (Japanese Economic History 2)		
テーマ／サブタイトル等 (Theme / Subtitle)	近現代(大正・昭和期)の日本経済の発展		
担当者名 (Instructor)	岡部　桂史(OKABE KEISHI)		
学期 (Semester)	秋学期(Fall Semester)	単位 (Credit)	2単位(2 Credits)
科目ナンバリング (Course Number)	ECX2710	言語 (Language)	日本語 (Japanese)
備考 (Notes)			

授業の目標(Course Objectives)

経済学部の学位授与方針に掲げる「幅広い視野と柔軟な頭脳をもって変動する経済社会に対応できる，自立的な思考能力をもった人材」となるべく，現在の日本に直接つながる経済の歴史的変化を学び，国際社会における日本の位置を再確認することによって，国際的・長期的な視野から経済事象を把握・理解する方法を獲得する。

As far as possible to "Be people with independent thinking ability who can respond to the changes in economic society with a broad perspective and flexible mind" as stated in the College of Economics degree granting policy, in this course students learn about the historical changes in the economy that are directly linked to Japan today and reconfirm the position of Japan in international society so that they can acquire the methods for grasping and understanding economic phenomena from an international and long-term perspective.

授業の内容(Course Contents)

明治後期-第 1 次世界大戦期-両大戦間期-戦時統制経済期，4 つの時代の日本経済の変化を解説する。現在「グローバル化」という言葉が広く喧伝され，あたかも世界は 1 つの価値観によって一体化された印象を受ける。しかし，歴史的にみれば，経済システムは，国家や地域によって極めて多彩・多様に展開し，今日でもその多様性は失われてはいないと思われる。本講義では経済発展の多様性・多様な経路に注目し，歴史的視点から日本経済発展の特徴を浮き彫りにしたい。

Changes in the Japanese economy during the four periods of Late Meiji Era, World War I, Interwar Period, and Wartime Regulations Period will be explained. The word "globalization" is widely used today to give the impression as if the world was one society with the same values. However, from a historical perspective, the development of economic systems differs greatly among countries and regions and this diversity remains today. This lecture focuses on the diversity and diverse paths of economic development and reveals the characteristics of Japanese economic development from a historical perspective.

授業計画(Course Schedule)

1. 日本経済史 2(大正・昭和期)へのアプローチ
2. 大隈財政と松方財政
3. 第一次世界大戦と日本経済
4. 不況下の中の成長-1920 年代の日本経済-
5. 金解禁と井上財政
6. 日本型人事労務管理と経営家族主義
7. 科学的管理法と「日本的」生産システム(1)
8. 科学的管理法と「日本的」生産システム(2)
9. 高橋財政
10. 高橋財政から戦時経済へ
11. 戦時経済への途
12. 戦時経済の実像
13. 戦時経済の崩壊
14. 日本経済史と現代経済

授業時間外(予習・復習等)の学習(Study Required Outside of Class)

事前に授業計画を参考に参考文献の該当部分を一読しておけば，理解がさらに深まる。また，歴史の大きな流れや知識に不安のある学生は，高等学校レベルの世界史・日本史の教科書・参考書に目を通しておくこと。その他，必要に応じて Blackboard 等により指示をする。

成績評価方法・基準(Evaluation)

筆記試験(Written Exam)(80%)/理解度確認小テスト・ミニレポート(20%)

テキスト（Textbooks）

なし

参考文献（Readings）

1. 沢井実・谷本雅之、2016、『日本経済史』、有斐閣（ISBN:9784641164888）
2. 宮本又郎、2012、『日本経済史』改訂新版、放送大学教育振（ISBN:9784595313639）
3. 宮本又郎ほか、2007、『日本経営史』（新版）、有斐閣（ISBN:9784641163003）
4. 宮本又郎ほか、2014、『1からの経営史』、碩学舎（ISBN:9784502089008）
5. 粕谷誠、2012、『ものづくり日本経営史』、名古屋大学出版会（ISBN:9784815807153）

その他（HP 等）（Others(e.g.HP)）

【授業形態】パワーポイントを使用した講義形式で，映像資料を適宜活用する。
【課題に対するフィードバック】最終授業時に，全体に対するフィードバックを行う。

注意事項（Notice）